

東北地整の庁舎整備で初の CLT パネル工法を採用 ～会津森林管理署南会津支署工事の手続き開始～

東北地方整備局の庁舎整備で初めて CLT パネル工法※¹を採用します。

国の建築工事で木材利用を図ることにより、地方公共団体や民間への木材利用の普及効果が期待されます。

※ 1 CLT パネル工法とは

CLT（直交集成板）（Cross Laminated Timber）を用いたパネルを、構造壁に使用して建築物を建てる工法

■本施設の特徴

- ・福島県では 2 事例目の木造庁舎です。※²
- ・主要構造部（壁）に CLT を活用しています。
- ・庁舎内で職員などが CLT を直接目に触れることができるような内装仕上げとしています。

※ 2 公共建築物等木材利用促進法の施行後で、東北地整営繕工事のうち

■CLT は、従来の木材よりも現場施工性が良いなどの利点があるとともに、建築の構造物などへの活用により、木材の新たな需要や新しい産業分野の創出が期待されています。

■木材利用により、健康的で温もりのある快適な空間の形成、地球温暖化の防止等に貢献するとともに、国の建築工事で木材利用の推進を図ることにより、地方公共団体や民間への木材利用の普及効果が期待できます。

別添：本事業の概要（施設の概要、CLT について等）

＜記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ＞

＜ 問い合わせ先 ＞

国土交通省 東北地方整備局（仙台合同庁舎 B 棟）

TEL:022-225-2171（代表）

営繕部 計画課 課 長 神鳥 博俊（内線 5151）

営繕技術専門官 河野 勝成（内線 5156）